

保育料の負担増に待った!

保護者の運動と共産党の追及で
市が軽減策を表明

「収入が増えてないのに保育料が1万円も上がった」「3万円も上がって暮らしていけない」——昨年9月から保育料の算定基準が変わり多子世帯ほど保育料が高くなり、悲鳴が上がりました。少子化対策に逆行するものです。

共産党市議団は、「市として支援を講じるべき」と追及。市は「制度上やむを得ない」と背を向けていましたが、保護者や保育関係者の運動と共産党のくり返しの追及に、ついに緩和措置を行うと表明しました。新入園児にも対象を広げるためにさらに力をつくします。



日本共産党

札幌市議会議員

田中啓介

暮らしのご相談はお気軽に

田中啓介 札幌市西区八軒5条西3丁目4-12
市政事務所 ☎011-615-5631/Fax011-615-5632

くらし・福祉の願い 秋元市長に予算要望



秋元市長に要望書を提出する党市議団



保育料の負担増を見直し、軽減策を講じるよう秋元市長に求める党市議団

共産党札幌市議団は12月14日、秋元市長に「2016年度予算に関する要望」を提出。高すぎる国保料の引き下げなど、98項目を要望しました。

市政だより

2016年1月号

発行/日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL011-211-3221 FAX011-218-5124
HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>
日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。